

期待				不安				どちらともいえない			
受ける	0.076	行く	0.075	ネット	0.055	心配	0.056	高齢	0.034	心配	0.041
時間	0.075	受ける	0.071	インターネット	0.052	管理	0.044	流出	0.033	高齢	0.037
手間	0.052	時間	0.06	使える	0.043	使える	0.044	管理	0.028	多い	0.03

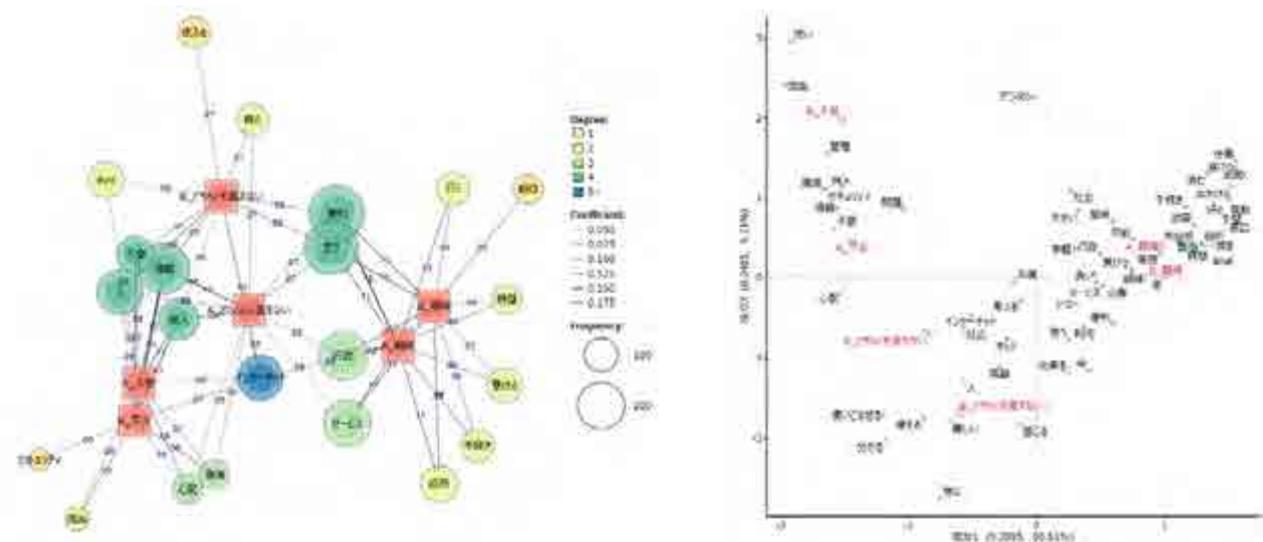


図 5-30 行政の期待・不安に影響する要因(左:共起ネットワーク、右:対応分析)

7) 災害

期待の特徴語として「災害」「対応」「迅速」がみられ、データ連携による迅速な災害対応、それによる被害の減少が期待の背景にあると推察される。

災害時に情報をそもそも使えない、機械的な対応への懸念、誤作動による状況の悪化などが不安の背景にあり、技術的に難しいという考えがどちらともいえないにつながっている。

表 5-14 災害の期待・不安に影響する要因(特徴語上位 10 位)

期待				不安				どちらともいえない			
A		B		A		B		A		B	
災害	0.208	災害	0.194	不安	0.119	不安	0.085	特に	0.089	AI	0.097
対応	0.149	対応	0.125	AI	0.088	AI	0.078	チャット	0.070	特に	0.063
思う	0.112	期待	0.122	人	0.062	人	0.069	相談	0.054	人	0.051
情報	0.060	思う	0.118	使える	0.056	チャット	0.061	分かる	0.044	チャット	0.046

期待				不安				どちらともいえない			
迅速	0.059	情報	0.080	人間	0.049	データ	0.053	使える	0.030	人間	0.040
相談	0.058	迅速	0.057	チャット	0.042	使える	0.044	言える	0.028	分かる	0.038
期待	0.056	的確	0.046	機械	0.035	機械	0.034	本当に	0.027	難しい	0.032
必要	0.050	判断	0.043	大きい	0.033	実現	0.030	疑問	0.024	使える	0.030
良い	0.048	相談	0.042	データ	0.032	連携	0.030	心配	0.021	多い	0.028
的確	0.045	大きい	0.041	誤る	0.032	高齢	0.027	想像	0.019	便利	0.027

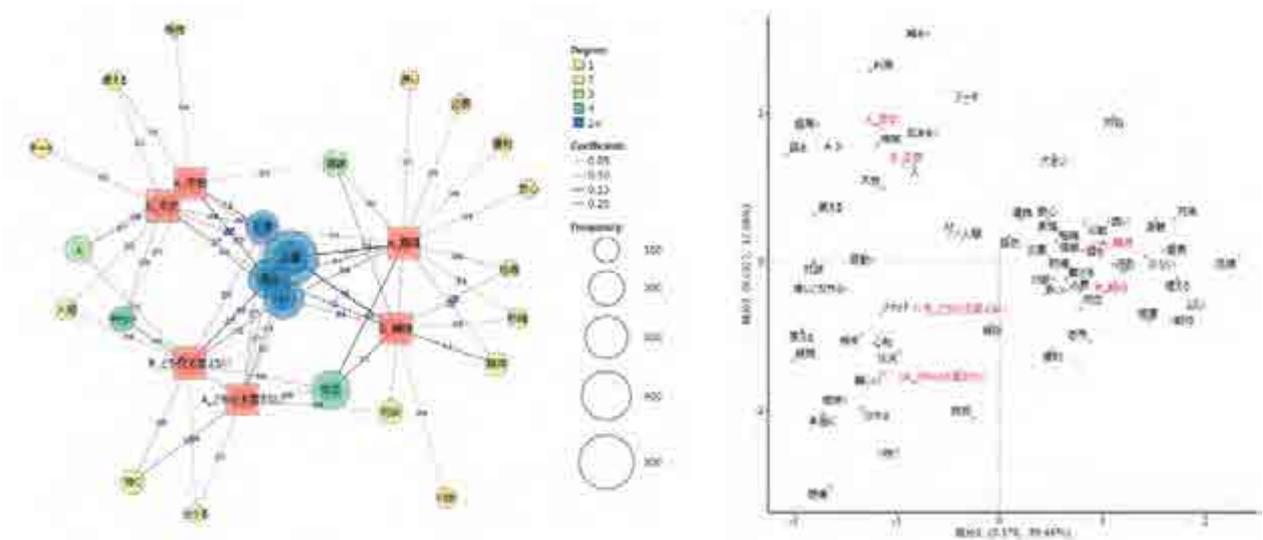


図 5-31 災害の期待・不安に影響する要因(左:共起ネットワーク、右:対応分析)

8) 農林水産業

期待の特徴語として「自給」「効率」がみられ、農林水産業界が稼げるようになること、効率化により人手不足の課題も解決されることが期待の背景にあると推察される。

不安の特徴語として「自然」「遺伝子」がみられ、自然災害・自然の脅威には勝てないことや遺伝子組み換え等への恐れが不安の背景にあると推察される。

表 5-15 農林水産業の期待・不安に影響する要因(特徴語上位 10 位)

期待				不安				どちらともいえない			
A		B		A		B		A		B	
思う	0.142	思う	0.135	不安	0.070	不安	0.092	特に	0.085	AI	0.074
農業	0.128	期待	0.124	特に	0.060	自然	0.060	分かる	0.050	特に	0.063
産業	0.110	農業	0.121	データ	0.046	安全	0.048	自然	0.032	良い	0.048
期待	0.108	農林	0.109	人間	0.045	分かる	0.047	安全	0.028	分かる	0.046

期待				不安				どちらともいえない			
農林	0.095	産業	0.104	稼げる	0.038	データ	0.042	言える	0.027	不安	0.045
自給	0.087	自給	0.092	自然	0.035	信用	0.039	難しい	0.023	稼げる	0.043
水	0.080	水	0.077	重視	0.032	稼げる	0.039	対応	0.020	分野	0.034
効率	0.075	効率	0.076	怖い	0.031	遺伝子	0.038	人間	0.020	言える	0.030
AI	0.072	食料	0.073	安全	0.031	実現	0.033	出る	0.018	自然	0.030
日本	0.067	人	0.070	本当に	0.030	組み換え	0.033	相手	0.018	安全	0.027

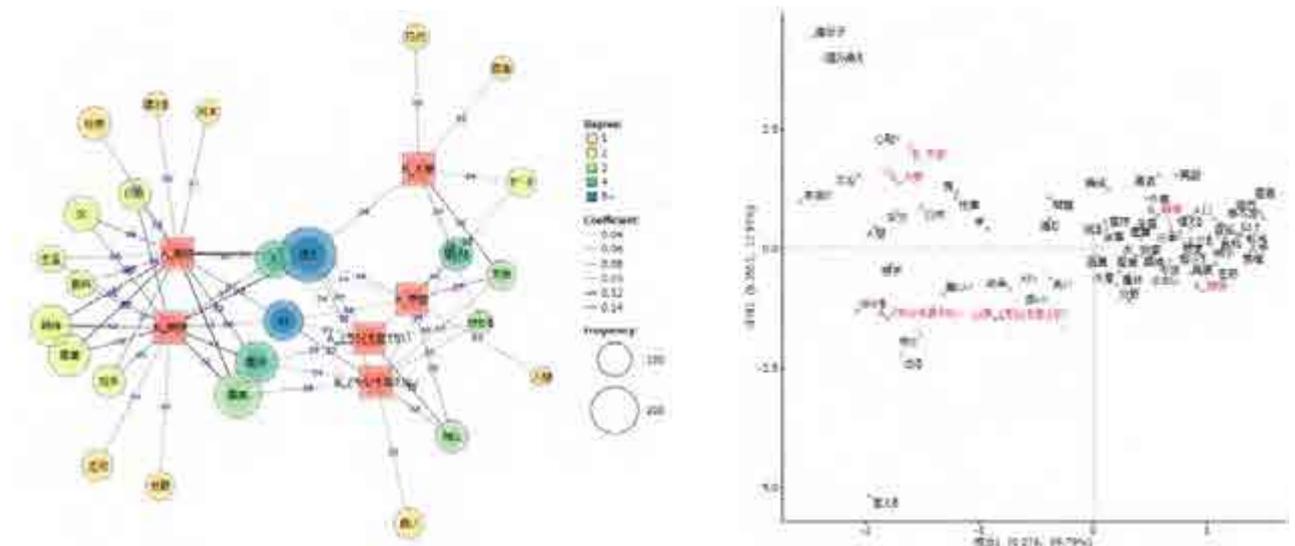


図 5-32 農林水産業の期待・不安に影響する要因(左:共起ネットワーク、右:対応分析)

9) 教育

期待の特徴語として「個人」「効率」「時代」がみられ、個人最適化された教育への期待やデジタル化の時代であるから進むしかないといったようなことが期待の背景にあると推察される。

不安の特徴語として「端末」「依存」「格差」がみられ、端末によるいじめやネット依存への悪影響、使える子どもとそうでない子どもの格差が広がることへの懸念が不安の背景にあると考えられる。

表 5-16 教育の期待・不安に影響する要因(特徴語上位 10 位)

期待				不安				どちらともいえない			
A		B		A		B		A		B	
教育	0.148	教育	0.150	端末	0.099	端末	0.081	特に	0.066	思う	0.112
学習	0.129	思う	0.112	子供	0.084	教育	0.076	良い	0.049	端末	0.071

期待			不安				どちらともいえない				
思う	0.099	学習	0.105	不安	0.062	人	0.061	不安	0.047	特に	0.056
個人	0.076	期待	0.083	児童	0.060	子供	0.051	人間	0.044	良い	0.054
子供	0.068	個人	0.071	人	0.052	良い	0.050	人	0.043	児童	0.044
受ける	0.063	必要	0.070	心配	0.048	不安	0.048	授業	0.036	人	0.043
生徒	0.060	受ける	0.064	格差	0.046	児童	0.047	心配	0.031	問題	0.041
期待	0.050	能力	0.057	ネット	0.042	人間	0.043	問題	0.030	教師	0.040
必要	0.049	効率	0.055	情報	0.041	依存	0.039	格差	0.030	不安	0.037
時代	0.049	大きい	0.053	依存	0.039	格差	0.038	分かる	0.027	対応	0.035

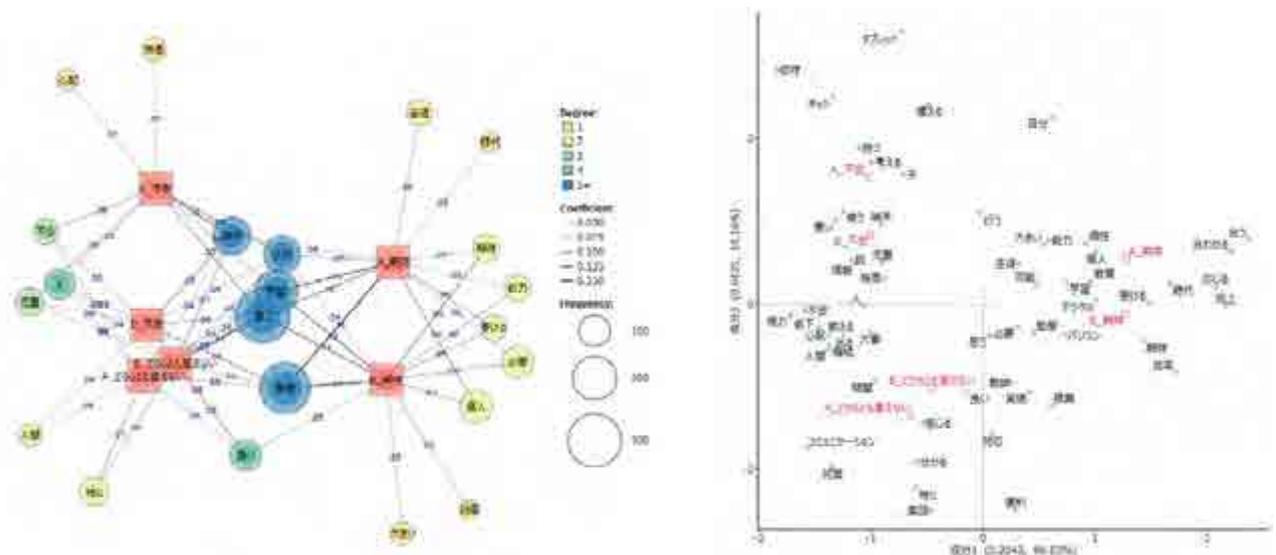


図 5-33 教育の期待・不安に影響する要因(左:共起ネットワーク、右:対応分析)

(4) テキスト解析を用いた Society 5.0 実現に向けた意見の分析

総論として、Society 5.0 実現に向けては、若年～中年層は連携・意識改革を求め、60 代以上は予算支援・研究開発を求めることが明らかとなった。

年代別に見ると、10 代は人材育成や「協力」、50 代は新規「技術」開発が特徴語であり、対応分析では両者は原点より左上に位置する。20 代～40 代は国と「企業」の連携を求め、また個々人の「意識」変革も多い傾向にある。また、60 代以上は政府予算支援や研究開発を重視する意見が多いことが分かる。

表 5-17 Society 5.0 実現に向けた意見(特徴語上位 10 位)

10 代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上							
国民	0.078	技術	0.055	国	0.105	国	0.103	国	0.135	思う	0.114	必要	0.118

協力	0.072	新しい	0.041	人	0.090	企業	0.090	思う	0.124	国民	0.101	研究	0.101
政府	0.058	問題	0.040	企業	0.079	国民	0.075	必要	0.100	人	0.067	国民	0.100
考える	0.050	サービス	0.035	思う	0.073	人	0.071	企業	0.099	生活	0.058	実現	0.096
自分	0.045	生きる	0.035	国民	0.071	社会	0.067	研究	0.085	政治	0.053	社会	0.085
知る	0.042	受け入れる	0.035	研究	0.065	考える	0.064	自分	0.056	予算	0.050	政治	0.075
環境	0.038	人間	0.034	支援	0.060	意識	0.055	技術	0.054	持つ	0.048	持つ	0.057
作る	0.038	税金	0.032	社会	0.058	個人	0.054	作る	0.043	個人	0.047	生活	0.054
理解	0.037	感じる	0.031	個人	0.056	情報	0.049	開発	0.041	日本	0.046	今	0.051
技術	0.036	作る	0.029	理解	0.046	税金	0.044	支援	0.040	政府	0.041	日本	0.050

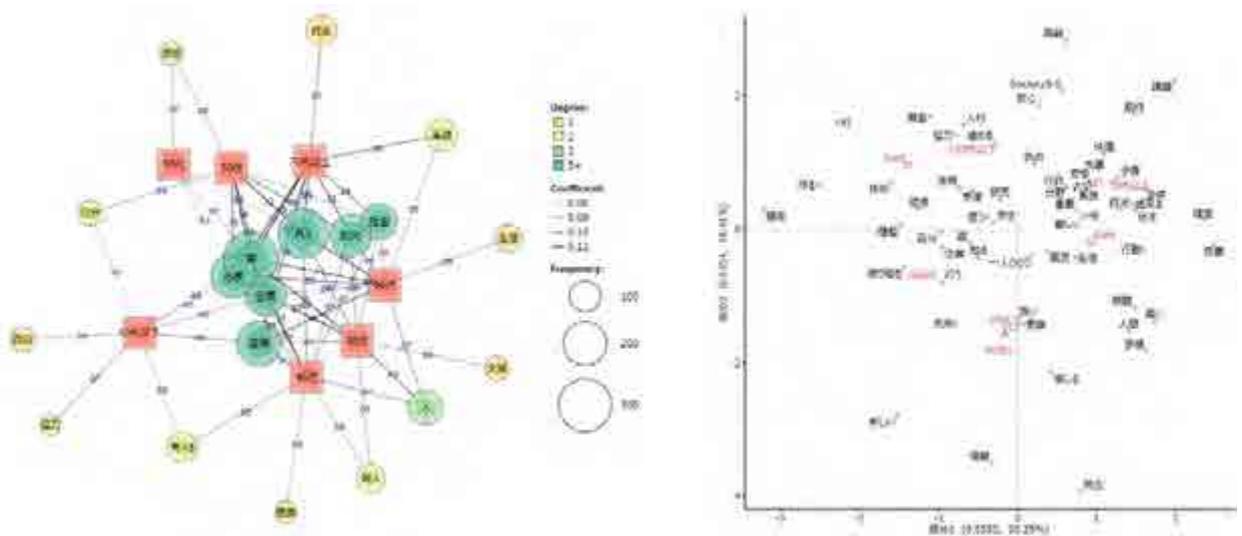


図 5-34 Society 5.0 実現に向けた意見(左:共起ネットワーク、右:対応分析)

参考資料